

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

公開実用 昭和60— 116315

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-116315

⑬ Int.Cl.⁴

A 61 F 13/16
A 41 B 9/12

識別記号

庁内整理番号
6737-4C
Z-7149-3B

⑭ 公開 昭和60年(1985)8月6日

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 パンティ

⑯ 実 願 昭59-4680

⑰ 出 願 昭59(1984)1月18日

⑱ 考 案 者 竹 島 弘 江 神戸市垂水区南多聞台7丁目8-207号
⑲ 出 願 人 竹 島 弘 江 神戸市垂水区南多聞台7丁目8-207号

明 細 書

1. 考案の名称

パンティ

2. 実用

股間部で性器に臨んで弾性帯を若干緊張気味にしてその両端を本体に止着したことを特徴とするパンティ

3. 考案の詳細な説明

この考案は、女性用パンティに関する。

従来より生理時に着用するパンティとして、布地自体が伸縮性を有し、これが弾力的に体型に密着する作用を利用し、股間部において綿状物を性器に押当保持する形式のものがある。

ところが、女性のウエストからヒップにかけての体型は各人様々で、標準的に製作されたこの種のパンティでは着用感をわるくすることなく、パンティ自体の弾力を集中的に股間部に作用させることは望めず、どうしても綿状物のずれを生じる。

そこで、この防止策として綿状物を部厚くす

るとか、綿状物に滑止表面加工を講ずるなどの手法がとられるが、前者は使い捨てされる綿状物を多くして不経済であり、後者は綿状物が高価となる欠点がある。

この考案は上記の点を解決したものであって、着用感をそがいすることなく、体型に左右されず集中的に綿状物を適当な圧力で性器へ押当保持して綿状物のずれを防止する便利なパンティを提供しようとするものである。

以下、この考案の実施例を図面に基づいて説明する。

1 はパンティ本体、2 はこのパンティ本体 1 の股間部 3 で性器に臨んで止着した弾性帯である。

弾性帯 2 は若干緊張気味にしてその両端のみを本体 1 に止着 4 し、長さは綿状物を十分にホローするに足る長さに設定する。

また弾性帯 2 の幅員は綿状物の形態、あるいは性状に合わせて適宜設定する。

尚、弾性帯 2 をパンティ本体 1 に止着する手



段として接着布等を使用すると、止着点が変更できて綿状物の押当圧が調整できて便利である。

この考案は上記のような構成であるから、これを着用して綿状物を性器に押当保持させる時、パンティ本体 1 に両端が止着 4 され、着用によって伸張する弾性帯 2 の弾力によって集中的に綿状物が性器上に押込まれ、この押込み作用は着用者の体型に左右されず、体のどんな動きにも殆ど変化もなくして綿状物のずれを阻止するものである。

またこの考案では、パンティ本体の緊締力は特に必要としないから、着用感を阻害するようなことはなく、さらに使い捨てされる綿状物も必要最小限の厚さでよく、綿状物には表面滑止表面加工等を要せず安価なものが安心して使用できる等の実用的効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

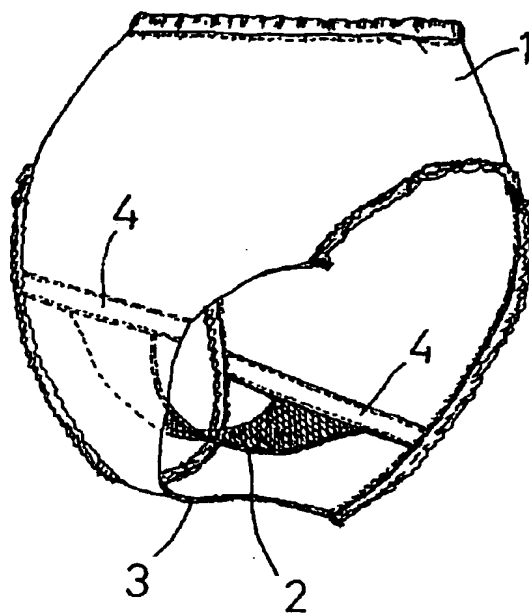
図面はこの考案の一部を欠除した斜視図である。

1 … パンティ本体、2 … 弾性帯、3 … 股間部、

4 … 止着部。

実用新案登録出願人氏名

竹 島 弘 江 (印)



実用新案登録出願人 竹島弘江 (竹島)

108

実開60-116315

手続補正書(方式)

昭和59年 5月 14日 差出
昭和 59 年 5 月 13 日

特許庁長官 若 杉 和 夫 殿

1. 事件の表示 昭和59年実用新案登録願第4680号
2. 考案の名称 パンテイ
方式 (付) 査
3. 補正をする者
事件との関係 実用新案登録請求人
住所 神戸市垂水区南多聞台7丁目8-207号
氏名 竹島 弘 江 (竹島)
4. 補正命令の日付 昭和59年3月30日
5. 補正の対称 明細書の「実用新案登録請求の範囲」の項目
6. 補正の内容 明細書第1頁第4行目に「2. 実用」とあるを、
「2. 実用新案登録請求の範囲」と補正する。

